

## 四国への新幹線導入について

平素は、四国地域発展のための輸送体制の確立につきまして、格別の御支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、四国地方の発展を図っていくためには、圏域内における高速交通体系の整備とともに、他圏域や大都市圏と結ぶ交通ネットワークの整備が不可欠であります。

今年3月には北陸新幹線が開業し、北海道新幹線は今年度末の開業、さらには、リニア中央新幹線の着工など、着々と進む一方、四国においては、新幹線が基本計画に留まっており、そのため、四国だけが空白地帯となっており、他地域と比べて相対的に交通利便性が低下し、他地域との競争に大きく後れを取っております。

このような危機意識のもと、平成24年5月には、広域ブロックでは全国初となる四国公共交通議員連盟が発足しました。平成24年10月には、全国知事会が策定した「日本再生デザイン」において、新幹線は、経済発展や地域活性化の牽引役となる重要な社会インフラであり、併せて、災害に強い地域づくりにも資するものであるため、国土軸のリダンダンシーの確保の観点から、四国を含む全国新幹線網の早期整備の促進が位置づけられております。

また、昨年4月には、四国4県や事業者等で設置した「四国の鉄道高速化検討準備会」が行った「四国における鉄道の抜本的高速化に関する基礎調査」の結果、ルートによっては社会的観点から費用対効果を評価する費用便益分析において、B/C（費用便益比）が「1」を上回る結果が得られるなど、四国における新幹線整備の妥当性が確認されました。

人口減少や地域活力向上が喫緊の課題となる中、四国の新幹線の整備は、四国と他地域、四国内の交流圏や交流人口の拡大により、地域経済の活性化や観光の振興を図るために欠かせないものであり、また、災害耐力の向上や在来線の維持確保等の点からも不可欠です。さらには、昨年策定された「国土のグランドデザイン2050」の理念である対流促進型国土の形成、また、地方創生といった国の基本政策の面からも重要なインフラであると考えます。

つきましては、基本計画に留まっている四国新幹線及び四国横断新幹線の整備計画への格上げに向けた調査・研究など、抜本的な高速化実現に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。

平成27年5月

四国鉄道活性化促進期成会

会 長	香 川 県 知 事	浜 田 恵 造
委 員	徳 島 県 知 事	飯 泉 嘉 門
	愛 媛 県 知 事	中 村 時 広
	高 知 県 知 事	尾 崎 正 直
	徳島県議会議長	川 端 正 義
	香川県議会議長	辻 村 修
	愛媛県議会議長	本 官 勇
	高知県議会議長	三 石 文 隆
	四国経済連合会会長	常 盤 百 樹
	四国商工会議所連合会会長	竹 崎 克 彦